

《担当者名》○熊谷 歌織 [kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]
 三津橋 梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]
 佐藤明子 (兼担)
 平 典子 [hiran@hoku-iryo-u.ac.jp] (非)

【概要】

がんサバイバー・家族の心理・社会的問題，セルフケアの発揮に対する援助方法として，リソースの活用とプログラム開発について学ぶ．サポートグループなどの心理・社会的介入，セルフマネジメント教育プログラムについては，計画から実施，評価の過程を学ぶ．また，看護チームに対する教育役割に関して，指導計画から実施，評価の過程を学ぶ．さらに，在宅での生活を支えるための連携のありかたを探究する．

【学修目標】

1. がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対して活用できるリソースの種類と機能を説明できる
2. サポートグループによる心理・社会的介入，セルフマネジメント教育プログラムについて，企画から運営の一連の過程を理解できる．
3. 看護カウンセリングの技法を理解できる
4. CNSの教育役割について，教育計画から評価の一連の過程を修得する
5. 在宅療養における連携のあり方，退院調整部門の役割を探究できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助1	1) がん相談支援センター等の機能を探究する；がん相談支援センター・患者サロンの見学 2) がん相談支援センター等における看護師の役割を探究する	熊谷 三津橋
3) 4	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助2	1) 看護カウンセリングの重要性と発展を整理する 2) 看護カウンセリング技法を修得する；演習	平 熊谷 三津橋
5) 6	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助3	1) サポートグループに参加し，グループ支援の意義と方法を探究する 2) セルフヘルプグループ（患者会，NPO団体）の活動を整理する 3) サポートグループ，セルフヘルプグループの意義，構成要素，運営法を比較・整理する	石井奈奈（特別講師） 熊谷 三津橋
7) 9	がんサバイバー・家族の心理・社会的問題に対する看護援助4	1) 特定の対象に対するサポートグループの運営について企画する；演習 2) サポートグループのファシリテータ役割を修得する；演習	平 熊谷 三津橋
10) 11	セルフマネジメントを促進する看護援助	1) セルフマネジメントの概念を整理する 2) 特定の領域におけるセルフマネジメント教育プログラムについて，目的，内容・方法，評価法を探究する；文献検討	熊谷 三津橋
12) 13	看護チームに対する教育役割	1) 特定のテーマに関して，組織・チーム分析，計画立案，評価指標および評価方法を検討する；演習 2) 1) について所属する施設において実施し，評価する	三津橋 熊谷
14) 15	在宅で療養するサバイバー・家族に対する援助	1) 在宅医療・ケアにおける課題を考察する 2) 在宅療養における連携のあり方，退院調整部門の役割を探究する	佐藤 熊谷 三津橋

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート（50%）、プレゼンテーション（25%）およびディスカッション（25%）から総合的に評価する。

【教科書】

随時提示する

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

関連資料および図書を熟読して臨む。

【学修方法】

各テーマの課題に対するプレゼンテーションとそれに対するディスカッションにより学習を深める

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。